

令和2年 地域懇談会（日比中学校区）

I 期日：令和2年11月19日（木）
会場：生涯学習センター（ミネルバ）

II 開会時刻：19時00分
閉会時刻：20時30分

III 会議内容

1. 開会

2. 説明（学校教育課長 教育総務課長より）

3. 質疑応答

（参加者）学校を地域とともに作っていく話を聞かせていただいたが、地域に住んでいると、学校の様子がわからない。子ども学級やおさらい会の様子はわかる。コロナで学校が休みになって「先生は休みでいいな」という意見があった。否定するのが大変だった。今日、地域に向けてどういったことをしているのか発信していただけてよかった。

学校の先生は、将来の子どもたちの理想像であってほしい。ICTもいいが、もっと子どもたちの目標となるように関わってほしい。

児童数の減少は課題であるが、少ない良さもある。中学校区一貫教育、キャリア教育は大変ありがたい。地域の在り方も問われてくる。地域への要望も逆に伝えていただければありがたい。

（教育長）人間同士の関係は当然大切にしている。ICTは導入されるが、人間同士の関係を軽視するものではない。

地域へも要望してほしいといったありがたいご意見もいただいた。他の懇談会でも同様の意見を聞いた。学校も発信できるようにしていきたい。

（参加者）建物の維持管理費が40年で188億かかると聞いたが、児童生徒がどんどん減っている。地域から学校が無くなるのはさみしいが、統廃合の計画はあるか？そうであれば、経費の面では、負担が減るのではないか。

（教育長）ご指摘の通り、地域からの声を受けて検討していくが、子どもが少なくなったから統廃合するのではなく、全体を見て、いくらかのプランを検討していくこ

とになると思う。

(参加者) 地域や家庭、PTA との連携も大切ではないか。鉛筆のろくに持てない子が多いように思う。

(学校教育課長) 今日は地域の方への説明だったので、PTA 関連や家庭の教育力については割愛してる。社会教育課の親学や、各校の PTA 活動は大切にしている。共働き世帯が増加し、学校の参加へは難しくなっている。

鉛筆の持ち方は課題だが、日比小学校は半数ぐらいの児童が上手に持つことができている。

教員定数の増加については、県へも要望している。続けていきたい。

(参加者) 現在、部活が無くなっている。無くなったらそれまでか。部活についての考えは？

(学校教育課長) 部活動は、校長先生が決定権がある。無くなったから復活しないという話では無い。

(参加者) 以前、復活は厳しいとの話を聞いたが？

(学校教育課長) 部活を作るのであれば、一定数の生徒と教員が必要。まずは同好会を立ち上げて実績を上げていく手順になると思う。ただ、教員が減少しているため、子どもたち全員の願いを叶えることは難しい。できるだけ多くの生徒の期待に添えるように、種類等検討する必要がある。今後、文科省では部活動指導員を導入していく流れもある。

(参加者) 学校も地域の資源を有効活用してほしい。現在有償ボランティアをしているが、連携を深めていきたい。

4. 閉 会